

株式会社タカハシ カレットセンター水走工場
新設事業に関する住民説明会
議事概要

開催日時：令和6年9月11日（水）19時00分～20時00分

令和6年9月14日（土）19時00分～20時00分

開催場所：クリエイターズプラザ南館（技術交流室）

参加者：住民説明会出席者3人（11日：3名、14日：0名）

説明者：株式会社タカハシ：2人

一般財団法人 関西環境管理技術センター：5人

主催者側出席者計7人

1. 開会
2. カレットセンター水走工場新設事業に係る環境影響評価について
3. 質疑応答
4. 閉会

=====以下に議事内容の概略を示す=====

2. カレットセンター水走工場新設事業に係る環境影響評価について（株式会社タカハシ(以下、タカハシ)、一般財団法人 関西環境管理技術センター(以下、EMATEC))

○タカハシ、EMATEC より資料を用いて説明した。

(環境影響評価について、環境アセスメント、株式会社タカハシ、事業計画、環境影響評価(各項目の調査結果、予測結果及び評価結果)、事後調査計画、準備書の縦覧・意見書の提出方法などについて説明した。)

3. 質疑・応答

○説明に対して以下の質疑・回答があった。(・質疑 ⇒回答)

・カレットセンターの工場を新設するのは、元の工場がオーバーワークになるなどの事情があったのか。(住民)

⇒市町村からの事業委託の要望が多く、現状ではこれ以上の生産が難しくなった。

また、ビンメーカーからの要望もあり、生産能力と資源化率を向上させるべく新施設の新設に至った。(タカハシ)

・以前の石切の工場とは違う工程のものが導入されるのか。(住民)

⇒現状の工程とはさして変わらないが、資源化率向上のための設備の増強は考えている。(タカハシ)

・石切工場と施設の詳細は変わらないか。(住民)

⇒工業地域なので24時間の稼働出来るようになるが、施設の詳細は変わらない。

仮に全国からの問い合わせが今後あったとしても、対応できるようにしたい。(タカハシ)

・カレットは昔からあったのか、また、どのような処理を行うのか。(住民)

⇒タカハシの事業はビンの色分けを昔ながらの手選別によって行うのではなく、機械で行うことにより生産量や正確性、資源化率を上げてきたことが特徴である。(タカハシ)

・一回洗ったビンを元の工場に戻すようなことはないのか。(住民)

⇒リターナブルビンとしてビールビンなど、使用したビンを回収して洗浄し再利用を行っている部分もあるが、そのような事業を行う業者は減少している。ワンウェイとよばれる、使い捨てのビンを破碎して溶解して資源化するのが現在の主流となっている。(タカハシ)

※カレットセンター水走工場新設事業に関する質疑応答は以上。

4. 閉会